



2025年4月8日

発行責任者 NPO 法人いた・エコ・ネット理事会

連絡先 090-7223-4689 横山

総会の開催 お知らせ

2025年5月25日(日) 10時半～12時 エコポリスセンター2階 環境学習室

皆さん、ぜひ出席をお願いいたします。議案書配布は、5月15日頃を予定しています。

総会終了後、懇親会を行います。予定をしてください。



* 腐葉土づくり2年目 1月22日 2月22日の状態 だいぶ堆肥の感じになる

赤塚公園の落ち葉を使って、コトンの栽培に使うたい肥を作っています。

東日本大震災から14年 3・11の現場を見に行く福島の旅に参加して

3月26日から28日まで「福島の14年後を知る旅」に参加しました。ここ3年連続して参加しています。今年は村松さんも一緒に参加しました。

昨年あたりから、汚染土を入れた黒いフレコンパックは全くなり、福島は原発事故がなかったかのようになっています。震災遺構の津波に襲われた「浪江町立請戸小学校」の校舎は、経年劣化が進み、保存に課題を感じました。14年の月日を思いました。

箱モノにお金をかけて、素晴らしい建物が次から次にでき、でも人はいない。震災前の浪江町は人口2万1千人、現在は2千人。双葉町の現在の人口120人。大熊町の現在の人口1千人。人口の多くは移住者という現状です。

今、「福島イノベーション・コスト構想」(エネルギー、環境(水素エネルギー)農林水産業(集成材)航空宇宙、医療関係などの分野を中心とした産業を集積して復興を図る)に基づき、双葉、大熊、浪江、富岡の町を復興される施策を進めています。20億円をかけた「中間貯蔵事業情報センター」など、税金を惜しげもなくつぎこむ事業に、割り切れない思いをしました。

3年ぶりに湯本温泉の古滝屋さんに宿泊、ご主人の里見さんにもお会いしてきました。古滝屋さんの9階に、私設の

「原子力災害考証館」を開設、常設展示を行っています。考証館で里見さんの講和をお聞きました。スタディツアーは今も実施しているとのこと。



双葉町の原子力災害伝承館の隣に大きなホテル建設中



古滝屋さんごの主人里見さん



富岡(漁港)海岸から見た福島第2原発
まじかに見たのは、初めてです。

だんだんと薄れていく記憶、私たちにはこれからもきちんと伝えていく責任があることを再認識した旅でした。



ニリンソウ月間 3月15日(土)~4月13日(日) 赤塚公園大門地区・赤塚城址地区

3月23日(日) 大門地区に、にりん草を見に来られて方は、10時から~12時の間に90人。ニリンソウは2分咲きくらいです。

3月30日(日) 大門地区 お天気も良く、たくさんの方が見学に来てくれました。10時から12時の間で110人。



5分咲きくらいです。まだまだ楽しめます。

ガイドは2時間で終わりますが、午後も大勢の方が見学にいらしています。



活動も11年目に。今後の予定がないのは、これからの活動について皆さんと決めていきたいと考えているためです。皆さんと一緒に進めていきたいと思ひます。

コットン栽培でお世話になった、いわき市の NPO 法人ザ・ピープルの吉田恵美子さんが昨年11月に亡くなり、偲ぶ会が4月20日に古滝屋さんで行われます。村松さんと出席をしたいと思います。

文責横山

